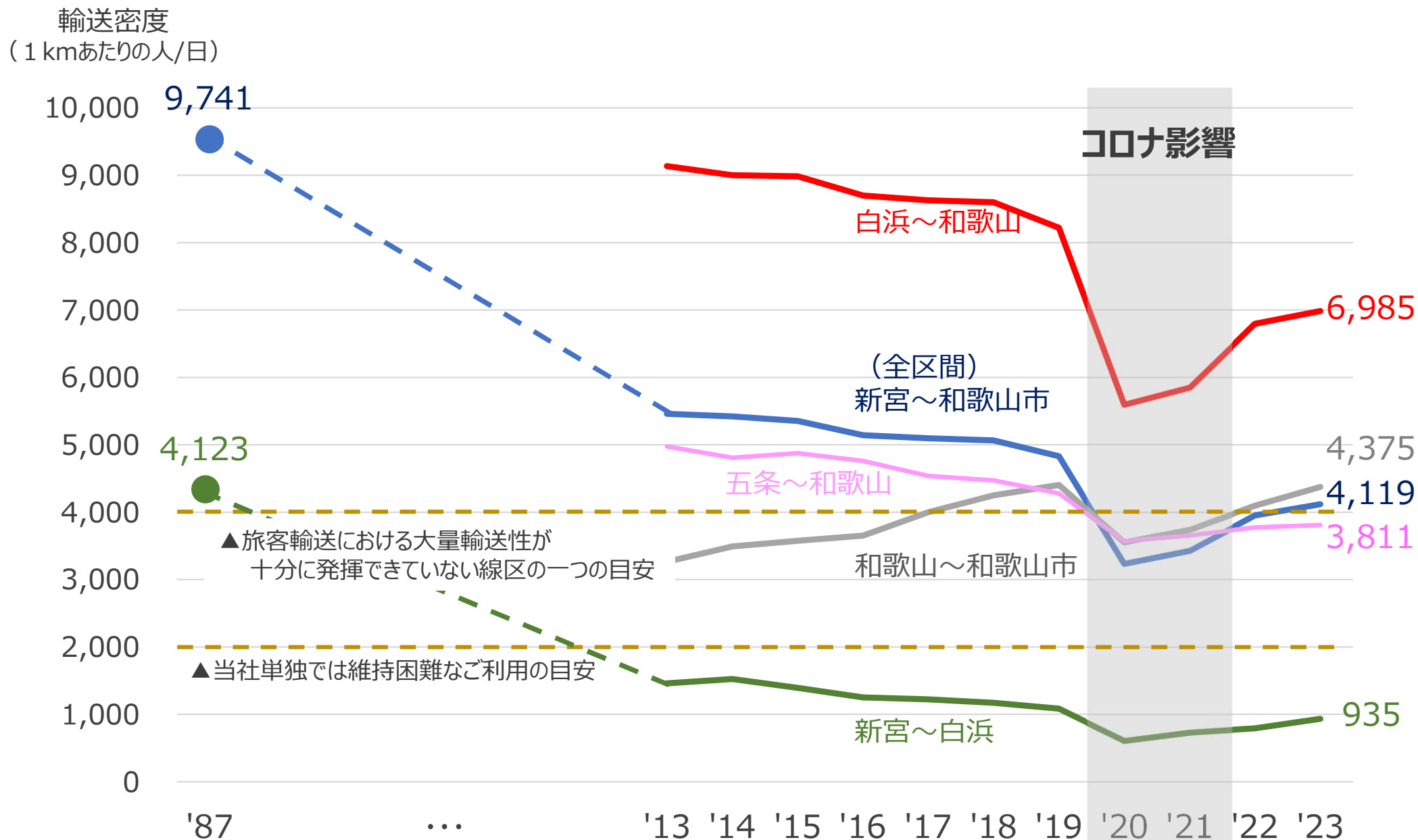
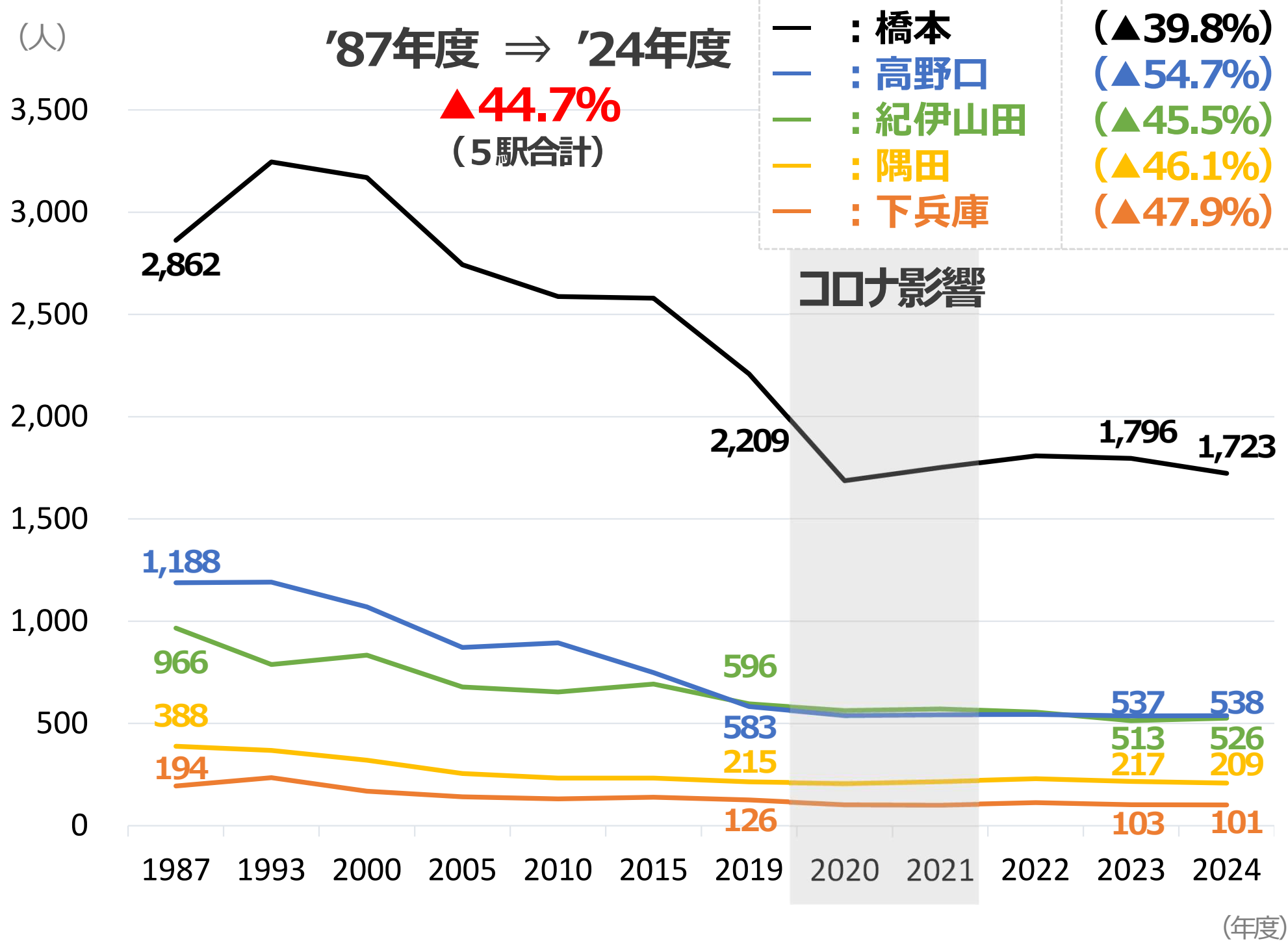




- ・JR発足時と比べると、紀勢線全体のご利用はコロナ前で半減、直近では40%の水準
- ・2,000人/日未満の新宮～白浜間は、議論の場として区間部会を設置いただいている

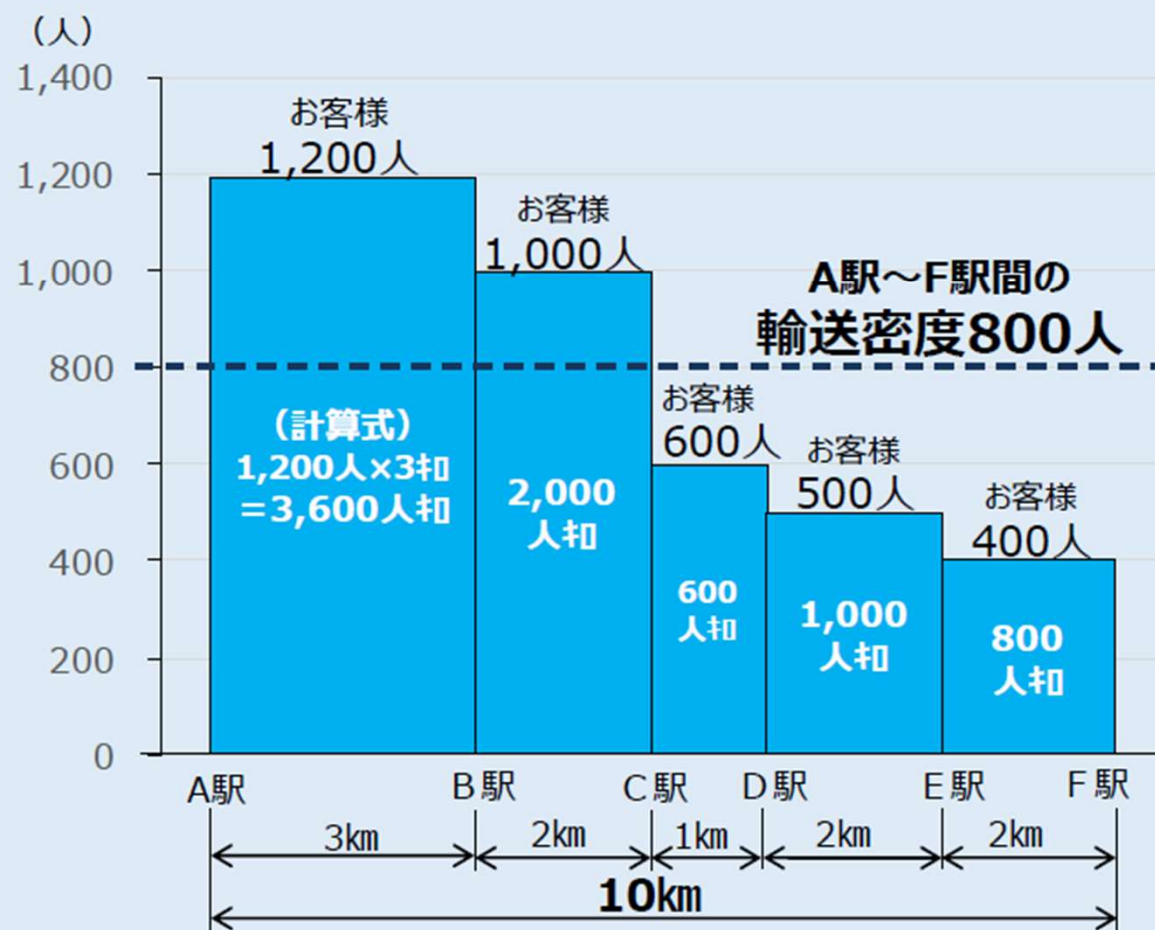
橋本市内各駅の乗車人員の推移

2



○輸送効率の実績を示す指標、線区全体のお客様のご利用状況には、駅間ごとに凸凹があるのが一般的、この凸凹をならした、区間全体の1日1kmあたりの平均人員を「輸送密度（平均通過人員）」といいます。

(例) A駅～F駅の駅間別輸送人員（1日あたり）



線区合計
8,000人キロ

÷

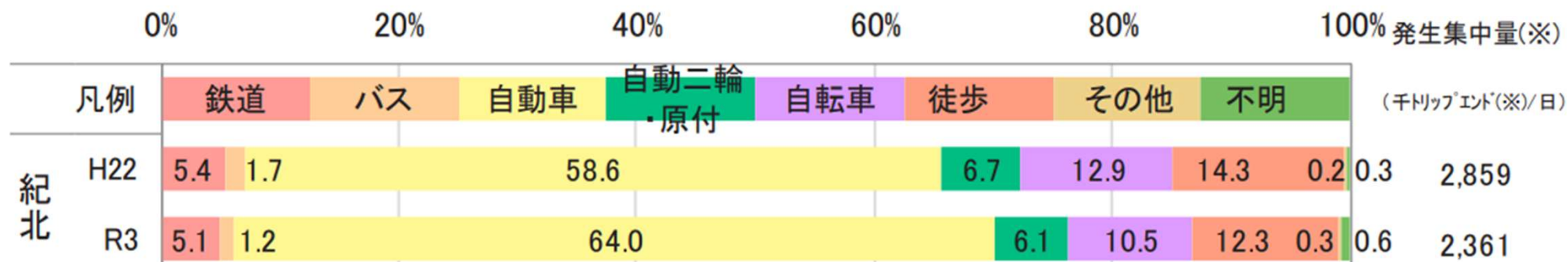
10km

＝

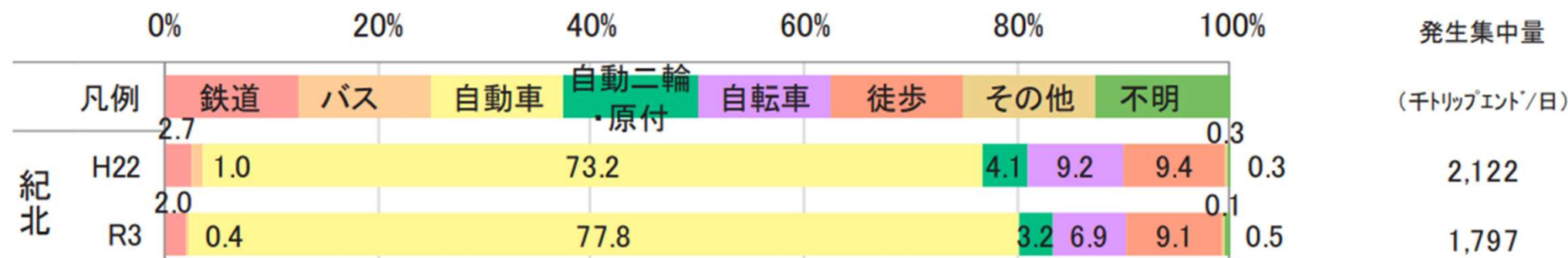
輸送密度
800人

紀北エリアの鉄道の交通分担率は、平日が5.1%、休日が2.0%と2010年より減少。
特に休日の同分担率は平日の半分以下となっている。
鉄道・バスの交通分担率を高める（＝鉄道を選択いただく）ことが重要。

<平日>



<休日>



- 2009 橋本東－高野口間開業
- 2012 高野口－紀北かつらぎ間開業
- 2014 紀北かつらぎ－紀の川間開業
- 2015 紀の川－岩出根来間開業
- 2017 岩出根来－和歌山JCT開業

